

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公表番号】特表2008-546641(P2008-546641A)  
 【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-051  
 【出願番号】特願2008-511673(P2008-511673)  
 【国際特許分類】

C 0 7 D 211/94 (2006.01)  
 A 6 1 K 8/49 (2006.01)  
 A 6 1 Q 19/00 (2006.01)  
 A 6 1 Q 5/00 (2006.01)  
 A 6 1 Q 11/00 (2006.01)  
 A 6 1 Q 15/00 (2006.01)  
 A 6 1 Q 17/04 (2006.01)  
 A 6 1 Q 3/00 (2006.01)  
 A 6 1 Q 1/02 (2006.01)  
 A 6 1 Q 9/04 (2006.01)  
 A 6 1 Q 13/00 (2006.01)  
 C 1 1 D 3/28 (2006.01)  
 D 0 6 M 13/328 (2006.01)  
 D 0 6 M 13/355 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 211/94  
 A 6 1 K 8/49  
 A 6 1 Q 19/00  
 A 6 1 Q 5/00  
 A 6 1 Q 11/00  
 A 6 1 Q 15/00  
 A 6 1 Q 17/04  
 A 6 1 Q 3/00  
 A 6 1 Q 1/02  
 A 6 1 Q 9/04  
 A 6 1 Q 13/00 1 0 0  
 C 1 1 D 3/28  
 D 0 6 M 13/328  
 D 0 6 M 13/355

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

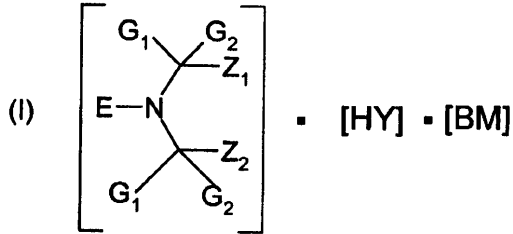
【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) ボディケア製品、家庭用製品、織物又は繊維、及び

(b) 式

## 【化 1】



[ 式中、

$G_1$  及び  $G_2$  は、独立して、1 ないし 4 個の炭素原子を有するアルキル基を表わすか、又は一緒になってペンタメチレン基を表わし、

$Z_1$  及び  $Z_2$  は、各々、メチル基を表わすか、又は  $Z_1$  及び  $Z_2$  は、一緒になって未置換の結合部分又はエステル基、エーテル基、ヒドロキシ基、オキソ基、シアノヒドリン基、アミド基、アミノ基、カルボキシ基又はウレタン基から選択された 1 種以上の基で置換された結合部分を形成し、

$E$  は、1 ないし 18 個の炭素原子を有するアルコキシ基、5 ないし 12 個の炭素原子を有するシクロアルコキシ基又は 7 ないし 15 個の炭素原子を有するアラルコキシ基を表わすか、又は、 $E$  は、 $-\text{O}-\text{T}-(\text{OH})_b$

( 式中、 $T$  は、1 ないし 18 個の炭素原子を有する直鎖又は枝分かれ鎖のアルキレン基、5 ないし 18 個の炭素原子を有するシクロアルキレン基、5 ないし 18 個の炭素原子を有するシクロアルケニレン基、フェニル基によって又は 1 ないし 4 個の炭素原子を有するアルキル基 1 又は 2 個で置換されたフェニル基によって置換された 1 ないし 4 個の炭素原子を有する直鎖又は枝分かれ鎖のアルキレン基を表わし、

$b$  は、1、2 又は 3 を表わすが、但し、 $b$  は、 $T$  の炭素原子の数を越えず、かつ、 $b$  が 2 又は 3 を表わす場合、各ヒドロキシ基は  $T$  の異なる炭素原子に結合する。 ) を表わし、

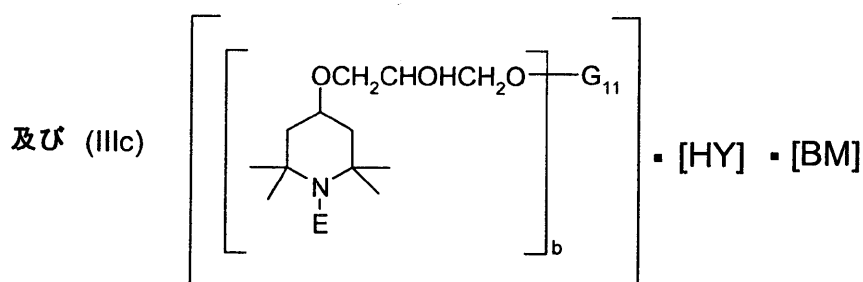
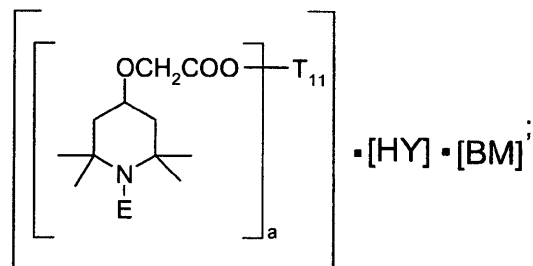
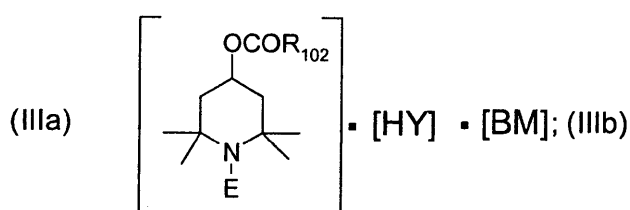
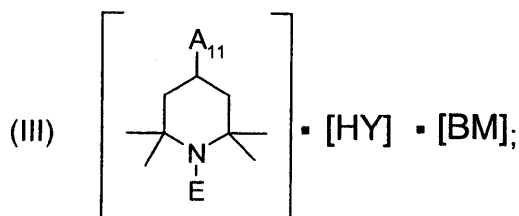
$\text{HY}$  は、無機酸又は有機酸 ( ここで、カチオンの総電荷は、アニオンの総電荷と等しい。 ) を表わし、

$\text{BM}$  は、アルカリ金属水酸化物、アルカリ土類金属水酸化物及びアミンからなる群から選択された塩基物質を表わす。 ] で表わされる化合物 1 種以上の有効安定化量を含む安定化組成物。

## 【請求項 2】

ボディケア製品、家庭用製品、織物又は繊維を安定化するための方法であって、式 ( I I I ) ないし ( I I I c )

【化 2】



{ 式中、

E は、1 ないし 18 個の炭素原子を有するアルコキシ基、5 ないし 12 個の炭素原子を有するシクロアルコキシ基又は 7 ないし 15 個の炭素原子を有するアラルコキシ基を表わすか、又は、E は、 $-\text{O}-\text{T}-(\text{OH})_b$

[ 式中、T は、1 ないし 18 個の炭素原子を有する直鎖又は枝分かれ鎖のアルキレン基、5 ないし 18 個の炭素原子を有するシクロアルキレン基、5 ないし 18 個の炭素原子を有するシクロアルケニレン基、フェニル基によって又は 1 ないし 4 個の炭素原子を有するアルキル基 1 又は 2 個で置換されたフェニル基によって置換された 1 ないし 4 個の炭素原子を有する直鎖又は枝分かれ鎖のアルキレン基を表わし、

b は、1、2 又は 3 を表わすが、但し、b は、T の炭素原子の数を越えず、かつ、b が 2 又は 3 を表わす場合、各ヒドロキシル基は T の異なる炭素原子に結合する。 ] を表わし、

R は、水素原子又はメチル基を表わし、

$A_{11}$  は、 $\text{OR}_{101}$  又は  $\text{NR}_{111}\text{R}_{112}$  を表わし、

ここで、 $\text{R}_{101}$  は、2 ないし 4 個の炭素原子を有するアルケニル基、プロパルギル基、グリシジル基、1 又は 2 個の酸素原子によって中断された、1 ないし 3 個のヒドロキシル基によって置換された又は 1 又は 2 個の酸素原子によって中断され、かつ 1 ないし 3 個のヒドロキシル基によって置換された 2 ないし 6 個の炭素原子を有するアルキル基を表わすか、又は、

$\text{R}_{101}$  は、カルボキシ基によって又はアルカリ金属、アンモニウム又はそれらの炭素原子数 1 ないし 4 のアルキルアンモニウム塩によって置換された 1 ないし 4 個の炭素原子を有するアルキル基を表わすか、又は、

$\text{R}_{101}$  は、 $\text{COO E}_{10}$  [ 式中、 $\text{E}_{10}$  は、メチル基又はエチル基を表わす。 ] によって置換されたアルキル基を表わし、

R<sub>102</sub>は、-COO-によって又は-CO-によって中断された3ないし5個の炭素原子を有するアルキル基を表わすか、又は、

R<sub>102</sub>は、-CH<sub>2</sub>(OCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>)<sub>c</sub>COCH<sub>3</sub>[式中、cは、1ないし4を表わす。]  
表わすか、又は、

R<sub>102</sub>は、-NHR<sub>103</sub>(式中、R<sub>103</sub>は、1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基を表わす。)を表わし、

aは、2ないし4を表わし、

aが2を表わす場合、

T<sub>11</sub>は、-(CH<sub>2</sub>CHR<sub>100</sub>-O)<sub>d</sub>CH<sub>2</sub>CHR<sub>100</sub>-[式中、dは、0又は1を表わし、R<sub>100</sub>は、水素原子又はメチル基を表わす。]を表わし、

aが3を表わす場合、

T<sub>11</sub>は、グリセリル基を表わし、

aが4を表わす場合、

T<sub>11</sub>は、ネオペンタンテトライル基を表わし、

bは、2又は3を表わし、

bが2を表わす場合、

G<sub>11</sub>は、-(CH<sub>2</sub>CHR<sub>100</sub>-O)<sub>d</sub>CH<sub>2</sub>CHR<sub>100</sub>-[式中、dは、0又は1を表わし、R<sub>100</sub>は、水素原子又はメチル基を表わす。]を表わし、

bが3を表わす場合、

G<sub>11</sub>は、グリセリル基を表わし、

R<sub>111</sub>は、水素原子、未置換の1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基、1又は2個のヒドロキシル基によって置換された1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基、1又は2個の酸素原子によって中断された1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基又は1個のヒドロキシル基によって置換され、かつ1又は2個の酸素原子によって中断された1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基を表わし、

R<sub>112</sub>は、-CO-R<sub>113</sub>を表わし、ここで、R<sub>113</sub>は、R<sub>111</sub>と同様の意味を有するか、又はR<sub>113</sub>は、NHR<sub>114</sub>[式中、R<sub>114</sub>は、未置換の1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基、1又は2個のヒドロキシル基によって置換された1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基、1又は2個の炭素原子を有するアルコキシ基によって置換された1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基、又は、1個のヒドロキシル基及び1又は2個の炭素原子を有するアルコキシ基によって置換された1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基を表わす。]を表わすか、又は、

R<sub>111</sub>及びR<sub>112</sub>は、一緒になって、-CO-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-CO-又は(CH<sub>2</sub>)<sub>6</sub>CO-  
を表わし、

BMは、アルカリ金属水酸化物、アルカリ土類金属水酸化物及びアミンからなる群から選択された塩基物質を表わし、

アミンは、R<sub>115</sub>-N(R<sub>116</sub>)-R<sub>117</sub>であり、

ここで、R<sub>115</sub>、R<sub>116</sub>及びR<sub>117</sub>は、独立して、水素原子、1ないし24個の炭素原子を有する直鎖又は枝分かれ鎖のアルキル基、2ないし18個の炭素原子を有する直鎖又は枝分かれ鎖のアルケニル基、5ないし12個の炭素原子を有するシクロアルキル基、7ないし15個の炭素原子を有するフェニルアルキル基、フェニル基、又は、1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基1ないし3個によってフェニル環上を置換された前記フェニル基又は前記フェニルアルキル基又は-OH、-OCO-R<sub>118</sub>、-OR<sub>119</sub>又は-NH<sub>2</sub>基の1個以上又はそれらの混合によって置換された前記アルキル基、又は、-O-、-NH-又は-NR<sub>119</sub>-基の1個以上又はそれらの混合によって中断され、かつ未置換であり得るか又は-OH、-OR<sub>119</sub>又は-NH<sub>2</sub>基の1個以上又はそれらの混合によって置換され得る前記アルキル基又は前記アルケニル基を表わし、

R<sub>118</sub>は、水素原子、直鎖又は枝分かれ鎖の炭素原子数1ないし18のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、直鎖又は枝分かれ鎖の炭素原子数3ないし8のアルケニル基、炭素原子数6ないし14のアリール基又は炭素原子数7ないし15のア

ラルキル基を表わし、

R<sub>119</sub>は、1ないし18個の炭素原子数を有する直鎖又は枝分かれ鎖のアルキル基を表わし、

アルカリ金属水酸化物は、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム又は水酸化ルビジウムであり、

アルカリ土類金属水酸化物は、水酸化マグネシウム、水酸化カルシウム、水酸化ストロンチウム又は水酸化バリウムであり、

HYは、無機酸又は有機酸[ここで、カチオンの総電荷は、アニオンの総電荷と等しい。]を表わし、

Yは、ホスフェート、ホスホネート、カーボネート、バイカーボネート、ニトレート、クロリド、プロミド、ビスルフィット、スルフィット、ビスルフェート、スルフェート、ボレート、ホルメート、アセテート、ベンゾエート、シトレート、オキサレート、タータレート、アクリレート、ポリアクリレート、フマレート、マレエート、イタコネート、グリコレート、グルコネート、マレート、マンデレート、チグレート、アスコルベート、ポリメタクリレート、ニトリロ三酢酸のカルボキシレート、ヒドロキシエチルエチレンジアミン三酢酸のカルボキシレート、エチレンジアミン四酢酸のカルボキシレート、ジエチレントリアミン五酢酸のカルボキシレート、ジエチレンジアミン四酢酸のカルボキシレート、ジエチレントリアミン五酢酸のカルボキシレート、アルキルスルホネート、アリアルスルホネート又はアルキル置換アリアルスルホネートを表わす。}

で表わされる化合物の1種以上を、ボディケア製品、家庭用製品、織物又は繊維中に配合すること又はボディケア製品、家庭用製品、織物又は繊維に適用することを含む方法。